

しち てん はっ き 七 転 八 起

校訓：自主・協同・創造

学校通信 NO. 2
令和4年 4月27日

大人への「心の成長」をしよう

令和4年4月1日から、成年年齢が18歳に引き下げられました。これに先立って選挙権年齢が引き下げられてきた経緯もあり、改めて「18歳からできるようになったこと」と「従来通り、20歳以上とされていること」という成年と未成年の境目について考えてみました。

成年年齢が引き下げられると「親の同意を得なくても、一人できざまな契約ができるようになる」という点が大きな変化の一つでしょうか。「大人として認められる自由」は、見方を変えれば「未成年者として守られてきたこと」がなくなるとも考えられます。法律で「自由」が認められたとしても、そこには「責任」が伴います。誰しも生まれてすぐの頃は、自分自身の身の回りのことも満足にできなかったものですが、周囲の人たちに守られながら、徐々に周囲にも目を配れるように成長していきます。やがて自分自身も「誰かを守る側」の立場へと成長し、自分一人のことだけでなく、家族や友人などの身近な人、また、地域社会や国全体のこと、さらには世界のことへと視野を広げて考えられようようになります。その変化が「大人になる」ということではないでしょうか。

中学生という時期は、「大人として変化していく時期」です。そんな「大人」への成長をしていくみなさんを、とても楽しみにしています。

思いやりにあふれ

何事にも主体的に行動できる

生徒の育成

今年度の学校教育目標です。この目標のもと、先生方や保護者のみなさん、地域のみなさんと一緒に取り組んでいきます。

- ① 前向きに取り組み、責任を持ってやり遂げる。
- ② 人を大切にし、共に力を合わせて取り組む。
- ③ 困難に立ち向かい、挑戦する。



そんな生徒であって欲しいと願っています。

校長 高森 伸彦

GWをどう過ごしますか！

昨年度のゴールデンウィークは、臨時休校こそなっていないものの緊急事態宣言が発令され、部活動も停止という状況下でのゴールデンウィークとなりました。ステイホームと自粛、規制の多い中でのゴールデンウィークでした。時間がたくさんでき、時間を有効に活用して、普段できなかったことや新しく始めたいと思う事にチャレンジするゴールデンウィークにして欲しいと書きました。

今年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながらも、規制が少し緩和されたゴールデンウィークを過ごせる喜びを感じてください。

ものの見方や考え方は、角度を変えてみればいろいろな創造や感性が生まれてきます。こういう状況下のときこそ柔軟な考え方で過ごしましょう。